

## 市民意見募集(パブリックコメント)結果

「第三次和歌山市子供読書活動推進計画(案)」に対するご意見を募集した結果、18件のご意見をいただきましたので、次のとおり公表します。なお、団体を特定することができるご意見の内容及びそれに付随する内容を一部修正しています。

### ■募集案件の概要

募集案件	第三次和歌山市子供読書活動推進計画(案)
受付期間	令和7年12月22日～令和8年1月20日
ご意見の件数	18件(7名、1団体)

### ■ご意見の概要と市の考え方

No	ご意見の概要	市の考え方
1	<p>私は、和歌山市内で古本交換・販売を通じた地域活動を行っています。</p> <p>その立場から、第三次「和歌山市子供読書活動推進計画(案)」について意見を述べます。</p> <p>現在の計画では、学校や図書館を中心とした読書環境の整備が主な柱となっていますが、今後はそれに加えて、地域の日常の中で、子どもたちが自然に本と出会える仕組みも重要だと考えます。</p> <p>地域イベントや空き家、商店、駅周辺などを活用した古本交換や本の紹介 POP づくりといった参加型の読書体験は、「読まされる読書」ではなく、子ども自身が関わり、選び、伝える読書体験につながります。</p> <p>また、本を介した活動を通じて、地域において、子どもと大人、地域の人同士が自然に会話を交わし、人とのつながりを感じる読書体験が生まれていることを実感しています。</p> <p>将来的には、活動する地域において、私設図書館(シェア貸し棚)や棚オーナー制のシェ</p>	<p>従来より、学校やコミュニティセンターでのボランティア団体による読み聞かせの実施や、図書館における民間団体とのイベント開催など民間団体と連携を図っています。このことから本計画案でも、「家庭・地域、図書館、学校等との連携の強化」を2つ目の基本方針として掲げているところです。</p>

	<p>ア本屋など、本を介して人が集い、世代を超えて交流できる地域の読書・文化拠点の整備も計画しています。</p> <p>こうした場合は、子どもたちが日常の中で自然に本に親しみ、読書が「学び」だけでなく「暮らし」や「まち」と結びつくきっかけになると考えています。</p> <p>今後、各地域で行われる、民間や地域団体による自主的な読書活動や交流拠点づくりに対して、情報提供や連携、補助制度など、和歌山市として何らかの形でご支援いただける仕組みがあれば、非常に心強く感じています。</p> <p>行政と地域が協力しながら、子どもたちの読書環境を地域ごと・まち全体で育てていく取り組みにつながることを期待しています。</p>	
2	<p>P 2</p> <p>デジタルは通信料金が必要で、すべての子どもが公平だとは必ずしも言えないのでは？</p> <p>それにデジタルは視力低下を招く恐れが高く、長時間見続けることの弊害を考慮した方がいいのでは？</p>	<p>本計画では、新型コロナウイルス感染症等の外部的要因への対応や GIGA スクール構想の進展等デジタル化に関する状況の社会的な変化を踏まえ、読書に関して電子媒体に偏ることなく、紙媒体と電子媒体を柔軟に選択できる環境を整えることが重要と考えています。</p>
3	<p>P 3</p> <p>「読書活動においても、子どもの視点を踏まえた取組の推進が期待」とあるが、具体的にどういうことか分かるように書いた方がいいのでは？</p>	<p>ご意見いただいた箇所については、こども基本法に基づく子供の視点を踏まえた取組の推進が重要であるとの認識のもと、本計画案における基本的な考え方を冒頭の第1章にお示ししたものです。</p>
4	<p>P 1 2</p> <p>コミセンの図書室の取り組みは頑張っているのに、新しい西コミセンに図書室がないのが本当にもったいない。県立図書館や市民図書館に近いからつくらなかつたと思うのだが、保育所や小中高が近くにあるのに図書室をつくらなかつたのは本当にもったいない。今からでもつくるできないだろうか？</p>	<p>西コミュニティセンターは、基本構想の策定までにワークショップを重ねて参りました。その中で、周辺に県立図書館や市民図書館が立地していること等を踏まえ、図書室を設置しない方向で進めたところです。</p> <p>なお、現時点で新たに図書室を設置する場合には、大規模改修や多額の予算が必要となるため、難しいと考えます。</p>

5	<p>毎日の読書時間確保が小、中とも100%達成なのに、不読率20～30%あるのは不明。</p>	<p>両者は測定内容が異なるために生じるものです。読書時間の確保率は、学校が毎日「読書の時間を設定したか」を示すものであり、児童生徒の読書量を把握するものではありません。不読率は「1か月に1冊も本を読まなかった児童生徒の割合」であり、本を読み切らない児童生徒が一定数いると考えられるため、この数値が生じます。</p> <p>今後も、読書時間を実質的な読書活動につなげられるよう、取り組んでまいります。</p>
6	<p>P19 図でもわかるように、学校図書館が終日開館している学校が100%でないのは、学校図書館司書を常駐させると簡単に解決する。ボランティアや児童生徒が開ければよいとなっているが、それは体裁だけ整えるようなもので、学校図書館の役割からずれているのでは？</p>	<p>学校での子供の読書活動の推進については、司書教諭や学校司書等が連携し、学校全体で読書活動を推進する体制を整えることが重要と考えています。</p> <p>各学校は実情に合わせて、終日開館するよう努めています。</p>
7	<p>学校司書の配置されていない学校(小・中学校)について、司書教諭が必ず1名以上配置されていますが、授業や担任をしながらの図書館の仕事は無理です。仕事ができるような配慮が必要です。</p>	<p>学校図書館教育の充実には、司書教諭の役割が重要であると認識しているところであり、国へ司書教諭の専任配置を要望したり、司書教諭を核とした全教職員での図書館教育を充実させる体制づくりを構築したりしているところです。</p>
8	<p>図書館での教育を充実させて下さい。 各学校で読書教育を充実させる為に、司書教諭が司書の仕事をできる環境を作ってください。</p>	

9	<p>P 2 2</p> <p>子供読書活動の推進の具体的方策の中に、「学校司書の大幅増員」が必須だと考えます。</p> <p>現状、特に中学校の子どもたちは学校図書館をあまり活用しておらず、学校司書の存在も知りません。</p> <p>本を増やしたりシステムを整えるだけでは不十分です。</p> <p>学校司書が各学校に常駐する(あるいはそれに近い形にする)ことで、子どもたちは日常的に図書館を利用しやすくなり、読書の魅力や活用の仕方、楽しみ方を学ぶことができます。家庭、地域、ボランティア、教職員などと連携するにしても、学校司書が軸となつてこそ、それぞれの役割が活かされると思います。</p> <p>本計画(案)第1章1にあるように、読書は単なる学習の手段ではなく、知的・感情的な成長を促し、生涯にわたって人生を豊かにする重要な役割を果たすもの。そうであるならば、全ての子どもたちが読書の喜びを享受できるよう、本の専門家として子どもたちをサポートする学校司書をもっと増やすべきではないでしょうか。</p>	<p>学校での子供の読書活動の推進については、司書教諭や学校司書等がそれぞれの専門性を発揮することで、学校全体で読書活動を推進する体制を整えていくことが重要と認識しています。</p>
10	<p>「子どもの読書活動推進法」の理念に立ち返って、環境を整えるのに学校司書が大きな役割を果たす。去年、〇市の〇図書館と〇小学校図書館を見学して実感した。2026年第6次学校図書館図書整備5ヶ年計画では、学校司書を1.3校に1人、7,000万円の地方交付税が措置されている。その財源で学校司書を各小、中学校に配置することを要望します。</p>	
11	<p>アンケート・資料37～38から、本を読むのは家に本がある、学校図書館や図書館の利用から。1か月に1冊も読まないのは、どんな本を読めばいいか、読みたい本、本の探し方が分からない等と、自分にとって興味のある本に会っていない。</p> <p>小学校に入学した時、学校図書館に案内され</p>	

	<p>て、自由に利用して本を借りて読むことができると知れば、どんなにうれしいかと思います。学校図書館に学校司書がいての話です。子どもは、「この本面白いよ」と手渡して初めて本を読むと言います。汚い本は手に取らない。小学校4年生までに読書の習慣が身につくとも。</p> <p>すべての子どもが読書できる環境の整備は、まず、小学校の図書館に学校司書を常駐するよう配置して下さい。</p> <p>国は第六次学校図書館図書整備等5か年計画（2022年度から2026年度）として5年間で、全ての小中学校等において学校図書館図書標準の達成を目指す、学校司書の配置に単年度243億円、小・中学校等のおおむね1.3校に1名配置と、和歌山市には約7,000万円措置されています。</p> <p>和歌山市は、2025年度は2,000万円余りが使われ、8名の学校司書が配置されました。2026年度は第六次の最後の年であり、せめて7,000万円を使って学校司書の配置に使って下さい。</p> <p>地方交付税は、和歌山市の子どもが他の市町村の子どもと同じ教育環境のもとにあるようにということですから。そして和歌山市は中核市です。</p> <p>○市では、22校の小中学校に11名の司書が配置されています。そして更に司書を増やす計画であるとのこと。</p>	
12	<p>一番心に残ったのはアンケートの37ページで1ヶ月に1冊も本を読まない子に、読まない理由を尋ねると、「忙しくて読む時間がない」という回答があったのに心が痛みました。</p> <p>この状況を改善するためには、学校図書館を充実させるのが一番だと思われます。</p> <p>好奇心いっぱいの時期には、学校図書館で思いっきり本を読んで、考えて、成長するのが本来の姿ではないでしょうか。そのために、環境を整えてあげて下さい。</p>	

	<p>20ページには学校司書の増員が書かれていましたので大いに期待しています。計画的に具体的にお示し下さい。増員後にはゆとりを持って仕事のできる司書さんの笑顔が見られ、それによって成長していく子どもたちを見ることができると思われます。</p>	
13	<p>学校における読書推進について：  不読率が、単純比較はできないとはいえ、本市では高いのは、学校司書の配置が不十分だからではないのですか？本気で読書率をあげたければ、まずは国から支給されている所定の予算は、全て学校司書増員のために使うべきでしょう。彼らは、子ども達それぞれに応じて本を選び・勧め、読書意欲を高めるプロなのですから。司書教諭の増員などでお茶を濁してはならず、まして学校施設の補修などに流用しては決してなりません。現状は法的な縛りがあるわけではありませんが、国もそれを強く推奨しています。</p> <p>学校施設の修繕・改修については、「学校施設環境改善交付金」など別に予算が組まれているのですから、そこから予算をとって対処して下さい。</p> <p>まずに行うべきは、学校司書を増員して常駐を目指す事。その後何年かかけて、活動内容と効果を検証しながら、次の方策を考えるのが良いと思います。</p> <p>読書推進活動の先進的な実施自治体はいくつもあります。</p> <p>読書推進・学校図書館・公立図書館担当の職員さんや、議員さん方には、熱心な取り組みをされている自治体、学校・公立図書館等を見学して頂きたいと強く思います。</p> <p>私も以前は図書館と司書さんの高度な役割について全く知りませんでした。自分自身が図書館で、そのように高度なサービスを受けたことがなかったからだと思います。長年図書活動されている方々のお話を聞いて初めて重要性を</p>	

	<p>知り、また〇市で見学、丁寧な説明とご案内を頂いて、司書と職員さんの役割を実感致しました。</p> <p>司書への投資は、教育への投資です。</p> <p>全ての学校での司書の常駐を、まずは実現して下さい。</p>	
14	<p>P 1 8</p> <p>「学校図書館の適切な人員配置」が課題の一つとして掲げられているが、数人の学校図書館司書を巡回させるのではなく、ひとつの学校に1人の学校図書館司書を置くことを目標に掲げていただきたい。それが本来の適切な配置であるとする。</p> <p>すでに国から学校図書館司書の予算が毎年出ており、おおよそ1校に1人の学校図書館司書を置くように言われている。公平公正な配置のために巡回させている、という理由で学校図書館司書を巡回させて余った予算を他で使うよりも、目標達成のために1校ずつでも常駐の学校図書館司書を置くことに注力していただきたい。学力向上の観点からだけでなく、学校図書館と学校図書館司書の活用で、子どもたちに豊かな日常を送らせてあげたいと願っている。学校図書館司書は貸し出しや図書の整理要員ではなく、資格をもった教育に関わる図書館専門職員なのだと認識していただきたい。そして非正規雇用でなく、正規雇用として採用していただきたい。</p>	
15	<p>デジタル化等の図書館への導入についても学校司書が常駐するか、司書教諭の仕事への配慮があつてのことです。</p>	<p>学校等におけるデジタル化の取組としては、21ページの「学校図書館の Wi-Fi 環境の整備」で、学校図書館の Wi-Fi 環境の整備を進めるに当たっては、学校司書や司書教諭への負担はないと考えています。</p>

16	<p>市民図書館の4階の児童書について、分類をNDC（日本十進分類法）にして下さい。小学校の国語でも学びます。学校図書館の分類もNDCです。</p>	<p>市民図書館4階の児童書については、旧館からの分類を含め独自分類で運用しています。市民図書館における子供の読書活動の推進においては、「児童書の充実」等に取り組むもので、図書館内には検索機を各所に設置し、配架場所の案内を行っています。</p>
17	<p>P 2 9 以前から活動している読み聞かせの会などが活動するのは理解するが、「地域人材養成講座に参加した人にボランティア活動の機会を紹介する」ことの主旨がわからない。主体は子どもたちでなくボランティアの方にあるように感じる。</p>	<p>ボランティアの確保は重要であることから、その方策の一つとして特出したものです。将来、読み聞かせなどのボランティアとして活動していただけると期待します。</p>
18	<p>P 3 1 市民図書館も学校図書館も司書の配置が大事だということを記載してほしい。</p>	<p>本計画案では、学校図書館での学校司書による読書支援を推進し、市民図書館においても、専門的知識を持つ司書が選書やレファレンス、読書支援、ボランティア連携の中心的役割を担うことを前提に事業を展開します。今後も司書の専門性を生かし、子供の読書意欲向上と学びの充実に寄与する体制の維持・充実に努めていきます。</p>